



2025年12月1日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 発電所の状況について（2025年12月1日現在）

1号機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～） ・建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事（2024年10月1日～） ・軽油貯蔵タンク他解体工事（2025年4月21日～）
2号機 加圧水型 (116万kW)	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定） 新規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み ・追加調査実施中（2025年9月16日～）【別紙】

（ ）内は定格電気出力

＜新規制基準への適合性審査に係る申請状況＞

	申 請	申請日	補正日	許認可日
2号機	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

2. 故障等の状況について（2025年11月5日～2025年12月1日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（2025年12月1日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

(1) 敦賀発電所1号機 原子炉建屋へのろ過水浸入について

2025年11月18日13時35分頃、敦賀発電所1号機の原子炉建屋内（以下、「建屋内」という。）で作業中の協力会社作業員が、1階（管理区域）の床面に水溜まりを確認し、その後の現場調査において、地下2階の床面などにも水溜まりがあることを確認しました。

原因調査の結果、原子炉建屋外から建屋内に敷設されている消火系配管の建屋貫通部の近傍（屋外埋設配管）からろ過水^{*1}が漏えいし、同貫通部を通じて建屋内に浸入したものと推定しました。

建屋内に浸入したろ過水については、ふき取りを行うとともに、当該配管を隔離したところ、建屋内への浸入が停止しました。今後、漏えい箇所を特定し、復旧します。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

※1 河川から取水した水をろ過装置によりろ過し、消火水としている。

(2) げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間 9:30～16:30】

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用いただいています>

① 2025福井県小・中学生科学アカデミー賞優秀作品展 敦賀展

今年で32年目を迎える「科学アカデミー賞」（主催：福井新聞社）では福井県内の小・中学生による理科研究を審査しています。寄せられた作品の中から上位入賞した18点を展示予定です。

（12月16日～1月4日）

以上

敦賀発電所2号機 新規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査

2025年9月16日より、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「K断層の分布と性状調査」を目的とした作業の一つとして、ピットを掘削する前に地層の状況を把握するためのボーリングを行っているものです。引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。

項目	調査目的	調査位置・概要		実施状況
1 K断層の分布と性状	K断層の岩盤及び深部での分布や性状を確認し、その特徴を詳細に把握	(1)	K断層が屈曲している箇所における岩盤までの掘削や、D-1トレーニングの地下深部までのボーリング調査を行う。	現地調査中
2 K断層の活動性	K断層の活動年代を特定するための地質データを更に拡充	(2)	・ D-1トレーニングの北西法面のボーリング等による地質の詳細調査を行う。 ・ ふげん道路ピットの上載層から採取したブロックの内部構造をCTで確認する。	現地調査中
3 K断層の連続性	K断層の連続性の有無を、従来のボーリングデータによる評価に加え、岩盤面において直接確認	(3-1)	ふげん道路ピットを岩盤まで掘削し、K断層が南方に連続していないことを直接確認する。	現地調査中
		(3-2)	ふげん道路ピットから敦賀発電所2号機原子炉建屋側への延長部において、調査坑によるK断層の追跡調査を行う。	(3-1)の調査後に対応
4 その他の破碎帯等	K断層が重要施設の直下まで連続していないことを確認するとともに、敷地全体の破碎帯等の地質データを取得	(4)	原子炉建屋周辺の地質、破碎帯の性状、原子炉建屋直下の破碎帯の活動性、その他の破碎帯の分布、活動性等について、ボーリング調査、調査坑による調査を行う。	現地調査中

<追加調査概要>

